

明日の劇場へ

into

[イントウ]

兵庫県立ピッコロ劇団後援会
ピッコロサポートクラブ機関誌

2023.11

vol. 83

森のなかの海賊船 ～こそあどの森の物語～



Contents

兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場
「森のなかの海賊船
～こそあどの森の物語～」

1

兵庫県立ピッコロ劇団第78回公演
ピッコロシアタープロデュース
「ロボット-RUR-」

6

兵庫県立ピッコロ劇団おでかけステージ
「タラレバ幽霊とタカラの山」

8

ピッコロサポートクラブ 10

ピッコロシアター催物/学校/資料室 12

劇団員あれこれ 14

シリーズ探訪47

「たんぼう、たんぼう、」 20

兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場

「森のなかの海賊船
～こそあどの森の物語～」



ピッコロシアター/兵庫県立ピッコロ劇団
〒661-0012 尼崎市南塚口町3丁目17番8号
Tel:06(6426)1940 Fax:06(6426)1943

<https://piccolo-theater.jp>

森のなかの海賊船

～こそあどの森の物語～

原作＝岡田 淳（理論社 刊）
潤色・演出＝平井久美子（ピッコロ劇団）
台本＝秋浜悟史
音楽＝園田容子



こそあどの森にやってきたのは
“海賊フラフラの宝”を探す二人の旅人。
フラフラの秘密を追ううちにスキッパーたちがたどり着いたのは――

心温まる名作が歌やダンスも
盛りだくさんの音楽劇に！
「さあ、船出だ！」

2023年 **12月23日(土) 15時***
24日(日) 11時* / 15時
*開場は開演の30分前です。

★視覚に障害のある方に音声ガイド
貸出有（無料）要事前申込
申込締切 12月16日（土）
TEL：06-6426-1940

会場 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ / JR西宮駅より徒歩約15分（阪急バス約7分）

料金 全席指定（税込）一般 3,000円 高校生以下 1,500円 セット券（一般+高校生以下）4,000円
※3歳以上有料。3歳未満でもお席が必要な場合は有料。※ピッコロサポートクラブ会員は会員種別により招待または1割引（ピッコロシアターのみで取り扱い）

チケット取扱い▶

■芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255（10:00～17:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日）
<https://www.gcenter-hyogo.jp>
※インターネットでのチケットのご購入には、先行予約会員（無料）への登録が必要です。

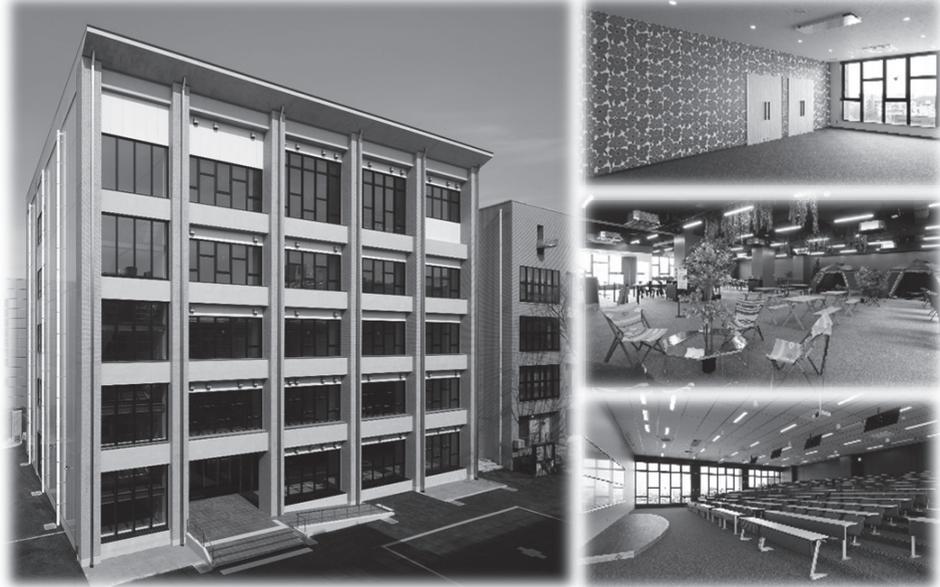
■ピッコロ劇団
○ピッコロシアター窓口/電話 06-6426-8088（9:00～21:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日）
○メール/ gekidan-p@hyogo-arts.or.jp（タイトルを「森のなかの海賊船」としてください）
記入事項 ①予約者氏名 ②電話番号 ③観劇日時 ④券の種類・枚数
※ひび上で鑑賞される3歳未満のお子様がいらっしゃる場合は人数をお知らせください。
※3営業日以内に返信がない場合はお問い合わせください。
※ピッコロサポートクラブ会員予約はピッコロシアターのみ取扱い

■その他のプレイガイド
チケットぴあ <https://t.pia.jp> ローソンチケット <https://l-tike.com>
e+（イープラス） <https://eplus.jp>
プレイガイドでの販売はインターネットのみ。取扱いについては各プレイガイドにお問い合わせください。

主 催：兵庫県立尼崎青少年創造劇場 / 兵庫県 / 兵庫県立芸術文化センター
後 援：兵庫県教育委員会、尼崎市教育委員会、伊丹市教育委員会、宝塚市教育委員会、
西宮市教育委員会
協 力：西北活性化協議会

文化庁文化芸術振興費補助金
舞台芸術等総合支援事業
（劇場・音楽堂等機能強化総合支援）
独立行政法人日本芸術文化振興会

2023年に園田学園女子大学短期大学部は 開学60周年を迎えました



- 園田学園女子大学
人間健康学部 総合健康学科 / 人間看護学科 / 食物栄養学科
人間教育学部 児童教育学科
経営学部 ビジネス学科
- 園田学園女子大学短期大学部
生活文化学科 / 幼児教育学科
- 園田学園高等学校
特別進学コース / 進学コース / 総合コース
- 園田学園中学校
- 園田学園女子大学附属 園田学園幼稚園
- 園田学園女子大学附属 学が丘幼稚園

〒661-0012
兵庫県尼崎市南塚口町 1-24-16
TEL：06-6427-7848
FAX：06-6427-7250
<https://www.sonoda-u.ac.jp>

地域とともに歩む

学校法人園田学園

出演

*やむを得ない事情により出演者などが変更となる場合があります。あらかじめご了承下さい。



スキッパー
吉村祐樹



ふたご
木村美憂



ふたご
鈴木あぐり



トワイエさん
今仲ひろし



ナルホド
橘義



マサカ
杏華



ギーコさん
森好文



スマレさん
櫻村千晶



ポットさん
浜崎大介



トマトさん
木之下由香



ブルトーネ
菅原ゆうき



フルフル
車貴玲

【スタッフ】

美術：長田佳代子 照明：血袋誠路（㈱ピーエーシーウエスト）音響：三宅住絵（campana）、横田和也（ARTS Inc.）
振付：福島直美 衣裳：大野知英 歌唱指導：中島恵美 演出助手：中島深志 舞台監督：政香里沙
演出部：谷口 遼、岡島大祐 制作：生田祥太、有馬真帆 制作助手：今井佐知子 チラシイラスト・タイトル：岡田 淳
音声ガイド：菅原ゆうき、木下鮎美 鑑賞サポート：古川知可子、新倉奈々子



演出：平井久美子（ピッコロ劇団）

原作者の岡田淳さんの作品は、どれも心温まる作品ばかりです。こそあどの森の物語シリーズは全部で12巻あり、長年にわたって愛読されています。2021年には「こそあどの森のおとなたちが子どもだったころ」が番外編で出版されています。今回はそのシリーズの「森のなかの海賊船」をお芝居にして皆さんにお届けしたいと思います。登場人物たちはとても個性的に描かれています。原作のイメージに沿いつつも、演劇的にもっと遙か豊かになるようにと、ピッコロ劇団のメンバーにしか出せない色合いを探りながら、お稽古をしてきました。

今回の台本には黒衣（くろご）が登場します。と言うか、全員黒衣です。黒衣とは、黒い衣裳に身を包み、芝居の途中で小道具や衣裳を持ってきたり、片付けたり、着替えを手伝ったりと、芝居がうまく進行していく役割を果たす人物です。歌舞伎や演劇の世界では黒は、無、見えないという約束になっています。今回はその「見えない約束」を大いに利用して、見えていないものが大胆に動き回り、交流し、時には衣裳を着けてそのシーンの主役になり、芝居を創っていきます。お芝居には皆さんの想像力が必要不可欠な世界です。どうか、一緒にこそあどの森の湖で遊んで、トワイエさんの家でお話を聞いて、そして海賊船を発見して欲しいです。あなたにしか見えない海賊船を。こそあどの森の物語をどうぞお楽しみください。

この森でもなければ その森でもない あの森でもなければ どの森でもない
こそあどの森 こそあどの森 ——
「こそあどの森の物語」は、1994年の刊行から長きにわたって読み親しまれている
岡田 淳さんによる人気児童書シリーズです。（全12巻+番外編1巻）



「森のなかの海賊船」物語にでてくるひとたち

……こそあどの森の住人たち……



スキッパー
こそあどの森のウニマルとよばれる家に住んでいる。海賊フラフラの真実をさぐる。



ふたご
おしゃべり好きで、ときどき名前をかえる。



トワイエさん
作家。大きな木の上の屋根裏部屋に住んでいる。



ギーコさん
ふだんはことばかすがすくない大工さん。



スマレさん
ギーコさんのお姉さん。ギーコさんといっしょにガラスびんの家に住んでいる。

トマトさん
ポットさん



湯わかしの形の家に住んでいる夫婦。トマトさんはポットさんにほっぺたにキスされるのがすき。



ナルホド

マサカ

こそあどの森にやって来た旅人。海賊フラフラの宝を探している。

フルフル



フラフラ一座の座員。魅力的な女性で後にフラフラと結婚する。



フラフラ一座の座長。ふしぎな魔術が使える。

フラフラ



ブルトーネ



ハラペーニョという王国の悪い大臣。

イラスト

岡田 淳

作者の岡田 淳さんは、物語だけでなく表紙や挿絵もご自身で手がけています。チラシのイラストやタイトルロゴ、キャラクターイラストも本公演のための描きおろしです！

ものがたり

こそあどの森は不思議な森。ある日、森にやって来た旅人ナルホドとマサカ。どうやらふたりは「海賊フラフラの宝」を探しているらしい。100年前、大悪党プルトーネを殺してしまったフラフラは、残酷な海賊になり、たくさんの宝を隠したと…。
 フラフラはなぜ海賊になったのか？ 本当に宝はあるのか？
 スkipパーは、森の住人たちとともに謎を追って、森のなかにあるという海賊船をさがしに行く――



ナルホドとマサカに「海賊フラフラの宝」のウワサを聞いたスキッパーは、トワイエさんの家を訪ねる。



トワイエさんはフラフラに関する貴重な本を持っていた。本の仕掛けに気づいたスキッパー。そこには「フラフラの真実の物語」が記されていた…



フラフラの宝への手がかりを聞きつけたナルホドとマサカは、自分たちが宝を探す理由を打ち明け、見つける手助けをしてほしいと願う。



こそあどの森の住人たちも巻き込んで、彼らが森の奥深くで見つけたものとは――

8月 ピッコロシアター公演の舞台写真より 撮影：森口ミツル

物語のつぎは、12月23日・24日の「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」
 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホールで!!

原作者

岡田 淳さんより

この物語をピッコロ劇団のみなさんが演劇にしてくれるのは、とてもうれしいです。
 このお芝居のもとになっているのは「こそあどの森の物語」全12巻のうちの三番目に出た本ですが、じつは、「森のなかの海賊船」ということばを思いついたところから、12巻すべての物語は始まりました。それほど魅力的なことばだったのです。
 このお話には「森」と「船」だけではなく、すてきなものをいっぱい詰め込みました。「劇場」「魔法」「本」「歌」「湖」「宝物」「仲間」……。
 物語は、スキッパーという少年が、いろんなひとや、出来事に会うかたちですすんでいきます。夢を追いつづけてきたひとに出会ったり、自分の秘密を打ち明ける場面に立ち会ったり、だれかを愛し、別れる気持ち、約束を果たす気分を味わったりします。そういうふうにして、自分の世界をひろげていくのです。
 それは、演劇を観るのによく似ています。ぼくたちは、舞台のなかの人生に出会ったり、場面に立ち会ったりして、感動して、ぼくたちの世界をひろげていくのですから。

プロフィール



1947年兵庫県生まれ。児童文学作家。神戸大学教育学部美術科卒。教職の傍ら執筆活動を始め、1979年に作家デビュー。図工の教師という経歴に培われた画力で、自著の挿絵も手がけることが多い。赤い鳥文学賞の『扉のむこうの物語』は長編児童文学のロングセラーのひとつ。主な代表作は、『放課後の時間割』*『雨やどりはすべり台の下で』*『二分間の冒険』*『学校ウサギをつかまえる』*『扉のむこうの物語』*『星モグラ サンジの伝説』*『選ばなかった冒険―光の石の伝説―』*『こそあどの森の物語』シリーズなど。（※は、ピッコロ劇団でこれまでに上演した作品）
 1998年に国際アンデルセン賞のオナーリストに選定。2022年には第43回巖谷小波文芸賞受賞の他、「こそあどの森のおとなたちが子どもだったころ」で第69回産経児童出版文化賞 大賞を受賞。

ピッコロ劇団ファミリー劇場
 森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～

関連イベント
おはなしBOX

「かっちゃんのかいぞくせん」 台本：風太郎
 「ブレーメンのおんがきたい」 台本：風太郎 音楽：吉江麻樹
 日 時：2023年12月16日（土） 15：00～ **入場無料・要予約**
 場 所：尼崎市立北図書館3階【集会室】
 尼崎市南武庫之荘 3-21-21
 （阪急神戸線「武庫之荘」駅下車 南へ徒歩10分、阪神バス「北図書館」下車 東へ徒歩2分）
 出 演：風太郎、吉江麻樹、有川理沙（ピッコロ劇団）
 募 集：70名（先着順）
 予約方法：お電話もしくはご来館（図書館カウンター）
 <尼崎市立北図書館> 尼崎市南武庫之荘 3-21-21 （電話：06-6438-7322）
 開館時間：火曜～土曜…9：00～20：00 / 日曜・祝日…9：00～17：15
 受付開始：2023年12月3日（日）9：00～

兵庫県立ピッコロ劇団第78回公演 ピッコロシアタープロデュース

ロボット-RUR-

作 = カレル・チャペック 翻訳 = 田才益夫 演出 = 高橋正徳 (文学座)

1920年、日本は大正の時代。

チェコで発表されたこの戯曲から、「ロボット」という言葉が生まれた。

これは、遠い過去か、迫る未来か—

2024年

日時 2/23 (金) 19時 24 (土) 11時/16時 25 (日) 11時/16時

会場 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

チケット発売 2023年12月17日(日) ※ピッコロサポートクラブ会員先行発売12月16日(土)



作 カレル・チャペック [1890-1938]

チェコの劇作家・小説家・エッセイスト。第一・二次世界大戦間の代表的作家として知られる。兄ヨゼフ・チャペックは画家・作家。『RUR』のほか代表作に『虫の生活から』(1921/兄との共作)など。ナチズムを批判した作品によりゲシュタポが危険視し、逮捕のため自宅へ押し入るが、カレルはその4か月前に病死していた。兄ヨゼフは強制収容所で亡くなっている。

現在、誰もが知る「ロボット」という言葉は、カレル・チャペックが戯曲『ロボット』(原題『RUR』)中で、人工の労働者を表現するため作った新語。チェコ語の「賦役」を意味する「robota (ロボタ)」に由来する。チャペックは、第一次世界大戦で機械文明が人間虐殺の道具になることを目の当たりにし、1920年、この作品を発表したといわれている。

演出 高橋正徳

1978年生。東京都出身。2000年文学座附属演劇研究所入所。05年座員昇格。04年アトリエの会『TERRA NOVA テラノヴァ』で文学座初演出。以降、川村毅、鐘下辰男、佃典彦、東憲司、青木豪など多くの現代作家の新作を演出。文学座附属演劇研究所での演出も多く務め、公共団体・学校などでの演劇ワークショップの講師としても活躍。2011年文化庁新進芸術家海外研修制度により1年間ローマに留学。

近年の演出作品に、文学座『ガラスの動物園』(2019・2022)・『欲望という名の電車』(2022)、ホリプロ『ミュージカル ストーリー・オブ・マイライフ』(2019・2021)、テアトル・エコー『ギラギラの月』(2022)、椿組『まっくらやみ 女の筑豊(やま)』(2023)、東宝 舞台『最高のオバハン 中島ハルコ ナイルの涙』(2023)など。



出演者決定!

〈ピッコロ劇団員〉



森 好文



風太郎



岡田 力



今仲ひろし



浜崎大介



野秋裕香



三坂賢二郎



木村美憂



有川理沙



谷口 遼



岡島大祐



木下鮎美

〈関西俳優陣〉



小林輝里花



高瀬海帆



辻 智之



森島隆博



森田 学

ものがたり

ロッサムズ・ユニヴァーサル・ロボッツ (RUR) 社のロボット工場がある孤島。大統領の娘・ヘレナが来訪する。社長のドミンはヘレナにすっかり魅了され、ロッサム社幹部の男たちも彼女を歓迎する。だがヘレナの目的は、ロボットを人間同様に扱うよう求めることだった。ドミンらは彼女の主張を笑い飛ばし、ロボットには感情がないこと、人間がロボットによって労働から解放されることを語る——

兵庫県立ピッコロ劇団
TEL:06-6426-8088 FAX:06-6426-1943
https://piccolo-theater.jp
〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8

主催: 兵庫県立尼崎青少年創造劇場 / 兵庫県 / 兵庫県立芸術文化センター
後援: チェコセンター東京
協力: (株) アイミーイン / 西北活性化協議会 / ルート

チェコセンター
東京

文化庁文化芸術振興費補助金
舞台芸術等総合支援事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援)
独立行政法人日本芸術文化振興会

兵庫県立ピッコロ劇団
おでかけステージ



台本=谷口雅美・原 竹志 (ピッコロ劇団)

演出=原 竹志 (ピッコロ劇団)

2023年は上郡町立高田小学校(10月31日(火))におでかけしたほか、小学校巡演演目である本作品を、一般の方もご覧いただける公演として、せんだい演劇工房 10-BOX(仙台市・10月28日(土))、小田南生涯学習プラザ(尼崎市・11月4日(土))・立花南生涯学習プラザ(尼崎市・11月11日(土))でも上演しました!

せんだい演劇工房 10-BOX



上郡町立高田小学校



小田南生涯学習プラザ



立花南生涯学習プラザ



『タラレバ幽霊とタカラの山』の2年にわたる旅の終着駅は尼崎の立花南生涯学習プラザでした。2年かけてちゃんと変化していった公演でした。わかりやすいところでいえば人が減ったり増えたりもしました。小学校の体育館・ピッコロシアター・10BOX・学習プラザといく先々を自分たちの空間に変えてまさに“劇でおでかけ”したのです。それはひとりひとり違う人間が集まってひとつのものを作り誰かに観てもらおう喜びを痛感する旅でした。旅に出てあらためて知る演劇の原点帰帰体験、とでもいいでしょうか。もしもなにかの縁でもう一度旅することが出来たら……! 皆様にお会いできることを心より願っております。

演出・台本 原 竹志 (ピッコロ劇団)



おでかけステージ(学校芸術鑑賞会を含む)の巡演に関して興味をお持ちの方は、ピッコロ劇団事務局(TEL:06-6426-8088)までお問い合わせください。

文化庁文化芸術振興費補助金
舞台芸術等総合支援事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援)
独立行政法人日本芸術文化振興会

自動車整備のことなら……

サトウオートサービス

◆営業時間◆ 午前9時～午後6時

〒661-0978 尼崎市久々知西町1-4-4

☎06-6420-8972(代)



ヤマハサウンドシステム株式会社

大阪営業所 大阪市淀川区西中島 4-7-18



あなた
の
人生を
後世に
つたえる

自費出版のご相談は
みるめ書房
神戸078・871・0551

Panasonic

メンテナンスからリニューアルまで
最適な舞台・スタジオ照明設備環境を
ご提供致します。



景観・
スポーツ
照明

サイン
設備

演出
設備

パナソニックEWエンジニアリング株式会社 近畿支店

〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 OBPパナソニックタワー9F
TEL(06)6910-0177

舞台美術・舞台技術・舞台制作
照明・音響・映像

KISS

神戸国際ステージサービス株式会社

代表 ☎078-994-1855

本社/神戸市西区見津が丘1丁目16番地の2

Stage Sound Lights
Engineering&Equipment
Event Plan&Management
<http://www.pacwest.co.jp>

PAC WEST

ほりべ運送株式会社

※小さな单身引越し 室内の家具移動 大きな事務所移転
楽器類や催し物の備品類移動まで

TEL: 0120-88-1290

FAX: 06-6428-0035

お見積もりは無料です!
まずはご相談して下さい

ピッコロ劇団 今後の公演ラインナップ

対象公演 A・J・特別・法人会員は、下記の「対象公演」から年間3本の公演をお選びいただき、種別・口数に応じてご招待します。

| | | | | |
|------|-------------|---------------------------------------|---|--|
| 対象公演 | 11・12月 | ファミリー劇場 森のなかの海賊船 ～こそあどの森の物語～ | 原作＝岡田 淳 (理論社 刊) 台本＝秋浜悟史 潤色・演出＝平井久美子 (ピッコロ劇団) 音楽＝園田容子 | 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール ※ピッコロわくわくステージ (中学生団体鑑賞) としても上演 |
| 対象公演 | 2024年 2月 | 第78回公演 / ピッコロシアタープロデュース ロボット -RUR- | 作＝カレル・チャペック 翻訳＝田才益夫 演出＝高橋正徳 (文学座) | 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール |

NEWS

■ピッコロ劇団おでかけステージ『タラレバ幽霊とタカラの山』 仙台で、尼崎で！

小学校体育館などへおでかけし、地域の子どもたちへ生の演劇の魅力や楽しみをお届けする「ピッコロ劇団おでかけステージ」。小規模なステージでも上演できるように、シンプルかつ効果的な舞台装置をはじめ、役者たちによる観客席を巻き込んだ舞台進行など、いつもの劇場公演とは一味違った作品づくりをコンセプトにしています。

これまでは小学生対象の貸切公演として上演されていましたが、今年度、その身軽な特性を生かして、宮城県仙台市及び兵庫県尼崎市において、子どもも大人も鑑賞可能な一般公演を実現しました。

○仙台公演 (令和5年10月28日：2公演)

ピッコロシアターでは、東日本大震災を契機に東北で演劇に携わる人々との交流を継続。演劇ワークショップの実施やピッコロ劇団ファミリー劇場『飛んで孫悟空』の上演のほか、せんだい演劇工房 10-BOX との共同制作や劇団の招へいなどを進めてきました。今回、「せんだい演劇工房 10-BOX 20+1 周年記念事業」として、ピッコロ劇団 8年ぶりの仙台公演が実現。地元の子どもたちに『タラレバ幽霊とタカラの山』をお届けしたほか、東北演劇人との交流を深めました。



お客様との交流の様子



感想が寄せられたホワイトボード

○尼崎公演 (令和5年11月4日・11日：各1公演)

ピッコロ劇団の本拠地である尼崎市。これまで、市内図書館でのおおなしBOX開催などといった取り組みを進めてきましたが、より身近な場所で、大人も子ども楽しめる本格的な演劇に触れていただきたいと、尼崎市との共催で、市内にある生涯学習プラザでの上演を企画。会場となった小田南・立花南の2か所の生涯学習プラザには、子どもから大人まで、多くの方にご来場いただきました。



尼崎公演 11月4日・11日



ピッコロサポートクラブ会員募集

ピッコロ劇団が観客の皆様と交流を深めていくために発足したピッコロ劇団後援会(ピッコロサポートクラブ)。お得な数々の特典で、ピッコロシアターの催し物をお楽しみいただけます。これからも一層内容の魅力アップをはかります。

●おもな特典 (会員ごとに異なります)

- ・ピッコロ劇団公演へのご招待または割り、優先予約
- ・ピッコロシアター自主事業の割り、優先予約
- ・ピッコロシアター利用券 (500円分) 進呈
- ・ご来場回数に応じて、記念品を進呈
- ・ピッコロシアター催物案内や機関誌の送付
- ・ピッコロ劇団員との交流会へのお誘い

●種類と年会費及び特典

- ・A会員 (個人) **6,000円**
ピッコロ劇団公演3作品に1名ご招待 (同伴者1割引)
- ・B会員 (個人) **2,000円**
ピッコロ劇団公演の割り (ご本人・同伴者とも1割引)
- ・J会員 (高校生以下の個人) **4,000円**
ピッコロ劇団公演3作品に1名ご招待 (同伴者1割引)
- ・特別会員 (個人) **10,000円**
ピッコロ劇団公演3作品に2名ご招待 (同伴者1割引)
- ・法人会員 (企業・団体) **20,000円**
ピッコロ劇団公演3作品に4名ご招待 (同伴者1割引)

- お問い合わせ / 詳しいご案内をお送りします！
ピッコロサポートクラブ事務局 TEL.06-6426-8088

ピッコロサポートクラブへようこそ！

ピッコロ劇団を支援してくださっている法人会員

尼崎商工会議所 / 尼崎信用金庫 / 株式会社尼信経営相談所 / 尼信ビジネス・サービス株式会社 / 尼信ビル株式会社 / 尼信保証株式会社 / 尼信リース株式会社 / 尼崎ホテル開発株式会社 ホテルヴィスキオ尼崎 / 石光商事株式会社 / いしだ動物病院 / 株式会社柄谷工務店 / 株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎 / 株式会社小西印刷所 / 学校法人園田学園 / 株式会社つむら工藝 / 東洋装備株式会社 / ナチュラルカフェ+b / 西北活性化協議会 / 株式会社日興商会 / 日興油脂株式会社 / 公益財団法人ニッセイ文化振興財団 / 株式会社ハートス / 株式会社ビーエーシーウエスト / 日之出商事株式会社 / ひょうご県友会神戸支部 / ひょうご県友会阪神支部 / もみじが丘動物病院
今後ともご支援をお願いします。(敬称略) R5.10.15時点

サポーターズ・ヴォイス

●ピッコロ劇団第77回公演『スターマン』感想 (2023年9月30日(土)～10月5日(木))
ピッコロシアター 大ホール

- ・各々登場人物のかもしれない問題のようなものが見えたりかくれたりでザラザラした気持ちになりました。
- ・舞台装置から圧倒されました。本当に部屋の一角をのぞいているような感覚で楽しかったです。何度も公演を見ましたが、今回はそれぞれ皆新鮮な配役で魅入られました。役者の一つ一つの動きや言葉がとても丁寧で引き込まれました。



(撮影：森口ミツル)

- ・昭和を生きた中で、よくわかる思い、兄と妹、おばとの関係、本当におもしろかった。兄と妹の大切な思い、特に「俺だけがわかっていてもしかたないじゃないか」というセリフは心に響いた。
- ・登場していない人物のことも想像できて良かった。日常なのに演劇として面白くなるのは何でだろうと思ってみてみました。アフタートークでちょっと答えがわかった。
- ・友人同士でありながらの微妙な距離感、仕草、表情一つ一つの要素から関係性をうかがうことが、すこしずつ人物の内側にふれ、親しくなっていくような感覚があり新鮮だった。



(撮影：森口ミツル)

お寄せいただきましたご意見を参考に、今後もより良い作品づくりに劇団員・職員一同励んで参ります。ご観劇いただきました皆様ありがとうございました。

ピッコロシアター鑑賞劇場

青年団プロデュース公演 尼崎市第7回「近松賞」受賞作品

『馬留徳三郎の一日』 作=高山さなえ（高山植物園） 演出=平田オリザ

【日時】 12月8日（金）18：30 / 9日（土）14：00*

★…終演後、高山さなえ、平田オリザによるポストパフォーマンストークを開催

【会場】 ピッコロシアター 大ホール

【料金】 全席指定 一般3,000円 25歳以下2,000円 高校生以下1,000円

【出演】 田村勝彦（文学座）、羽場睦子（フリー）、猪股俊明（フリー）、山村崇子、永井秀樹、能島瑞穂、梅津 忠、串尾一輝／声の出演=吉田 庸



©T.Aoki



©T.Aoki

ピッコロ寄席

『桂吉朝一門会』

吉朝直弟子5人が登場！ 出番・演目は当日お客様の前で決定！

【日時】 12月16日（土）14：00

【料金】 全席指定 一般3,000円 高校生以下1,500円

【会場】 ピッコロシアター 大ホール

【出演】 桂あさ吉、桂吉弥、桂よね吉、桂吉坊、桂吉の丞



桂あさ吉



桂吉弥



桂よね吉



桂吉坊



桂吉の丞

ピッコロシアター文化セミナーラボ〈5〉

『舞台手話通訳ってなんだろう？』～みんなで一緒に舞台を楽しむためには？～

【日時】 2024年1月21日（日）10：00～11：30 【会場】 ピッコロシアター小ホール

【講師】 下坂幸恵（特定非営利活動法人 シアター・アクセシビリティ・ネットワーク 舞台手話通訳者 / ピッコロ演劇学校本科38期卒業生）

【参加費】 無料（要申込）

【募集人数】 先着50名

● お問合せ・お申込み ●

ピッコロシアター TEL 06-6426-1940 FAX 06-6426-1943

(9：00～21：00 / 月曜休館 ※祝日の場合翌日) 最新情報はホームページで！ <https://piccolo-theater.jp>

ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校

● オープンキャンパス参加者募集！

「ピッコロ演劇学校」（1983年開設）と「ピッコロ舞台技術学校」（1992年開設）では、令和6年度生の募集に向けて、オープンキャンパスを行います。第一線で活躍するプロの講師陣が直接指導。週2回、夜間開講なので、社会人や学生でも無理なく通えます。リーズナブルな授業料も魅力です。

ピッコロ舞台技術学校



華やかな舞台芸術を裏側から支える「裏方さん」の世界に飛び込んでみませんか？ピッコロ舞台技術学校のオープンキャンパスでは、実際に劇場で使われている機材を使って、音響・照明・舞台操作の仕事を体験できます。毎年人気のバックステージツアーも実施！知識がなくても好奇心があれば大丈夫です。

【内容】 学校概要説明、音響・照明・舞台操作体験、バックステージツアー

【日時】 12月19日（火）18：00～21：00

【場所】 ピッコロシアター 大ホール

【料金】 参加料無料（原則高校生以上・要申込）先着50名

ピッコロ演劇学校



演劇学校の授業の一部を体験していただきます。ピッコロ劇団員が講師として指導します。シアターゲームの要素を使いながら体と心をストレッチ！日常あまり使わない筋肉や感覚を意識することからスタートするので、初めて演劇に触れる方でも大丈夫です。

【内容】 学校概要説明、舞台表現実習

【日時】 2024年1月14日（日）14：00～16：30

【場所】 ピッコロシアター 大ホール

【料金】 参加料無料（原則高校生以上・要申込）先着40名

● ピッコロ演劇学校〈本科〉〈研究科〉前期発表会

『2023 Piccolo Passo～小さな一歩～』上演報告

本科40期生『スマホ～4つのオムニバス～』

10月28日（土）・29日（日）

ピッコロシアター 中ホール



入学して半年の本科生の初舞台。『スマホ』というテーマで学校生たちが書き下ろした個性豊かな短編4作品を上演しました。

研究科39期生

『悪魔の降りた町～アーサー・ミラー作「るつぼ」より～』シーン発表

(作=アーサー・ミラー、潤色・演出=島守辰明)

11月4日（土）・5日（日）

ピッコロシアター 中ホール



卒業公演に向けての経過発表として、一部のシーンを抜粋して上演しました。

学



8月9日にピッコロ実技教室『まわしよみ新聞×演劇～壁新聞を演じてみる～』に本田千恵子、有川理沙と共に講師として参加した三坂賢二郎に振り返ってもらいました。



去る8月9日にピッコロシアター小ホールで行われた『まわしよみ新聞×演劇～壁新聞を演じてみる～』で講師を務めさせていただきました。

まわしよみ新聞と考案者の陸奥賢氏に出会ったのはかれこれ……何年前だったか。とにかく以前だ。まわしよみ新聞のことを簡単に説明すると「集まった人達が興味のある新聞記事を切り抜いたうえで色々討論しながら壁新聞を作り、話題を共有する」というもの。これがやってみると大変面白い。なるほど普段如何に自分の興味のあることのみを得がちか気付かされる。知識を深めるといって体裁は好いが大概そんな大して深めてない。自ら世界を狭めているのだ。他人が興味のあることに興味を持つ。なんて演劇的！ 演劇的って便利な言葉!! とにかく演劇とも相性バッチリなのは言うまでもない。集まった他人達が作り上げたまわしよみ新聞から創り出す演劇はまさにその瞬間だけの演劇となる。そのお手伝いをさせてもらうのもまたその瞬間を共有出来るという醍醐味なのである。

技



風太郎が8月19日～20日に天王寺の一心寺シアター倶楽プロデュースの地蔵盆フェスティバル『へこきクマのプッププー』（鄭 義信：作）に登場する巨大化け猫を、発泡スチロールで製作しました。その作業工程をお見せします。



①アタリを付けて



②ノコギリで切り出し



③ヤスリで整えながら



④足りないところをつぎ足し



⑤完成をひたすらイメージ



⑥牙は竹串で差し込み



⑦迫力出てきました



⑧毛の流れを意識して塗装



⑨ヒゲを付けてニスを塗る



⑩手も作ったのニャー!



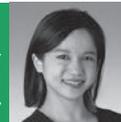
⑪本番はこんな感じ!



⑫発泡の雪まみれ

作業は8日間。一人でこんなに長時間、黙々と物作りをしたのは初めて。差し入れの珈琲を飲みながら猛暑のベランダで次の作業を考えて。心に残る夏でした。

談



第77回公演『スターマン』で制作助手を担当した木下鮎美に、仕事の様子を語ってもらいました。

お芝居の公演に関わる人達をざっくり4つに分けてみましょう。まず思いつくのは俳優、舞台上演技をするキャスト達ですね。次に舞台監督・音響・照明・美術…など、演出と力を合わせ、演技とは違う形で舞台を作る裏方スタッフさん達。そして、広報やチケット…などで、お芝居をお客さんに届ける表方スタッフさん達。最後にお芝居を完成させる一そう、お芝居を観てくださるあなた一観客の皆さんがいます。今回初めて表方の「制作」というお仕事の助手を務めさせていただきました。先ほどのざっくり説明では触れきれないお仕事も沢山あり、私が担ったのはほんの一部。チケットの予約を受けたり、公演のご案内をお送りしたり、アンケートの整理をしたり…。お客さまの声は、キャストの時は舞台上から空気を肌で感じるのみですが、制作のお仕事では言葉や声に直接触れます。予約のお葉書に手書きで一言「楽しみにしています」と添えられていると、じんわり来ます。

劇団員になる前、私はピッコロシアター職員として働いていました。貸館担当というお仕事は直接お芝居作りに関係ありませんでしたが、その頃の経験が後から後から気づきをくれて、私の背骨の一部になっています。制作助手のお仕事もまた、後から後から私の背骨を強化してくれるのだろう、と目論んでいます。—どんな経験も豊かなお芝居作りに！そして、いつかお客さまにお返しできますように。貴重な機会をありがとうございました。—『スターマン』へご来場、ありがとうございました。



談



10月1日、第77回公演『スターマン』終演後に、ピッコロ劇団来春の本公演作品を書き下ろしていただく山本正典さん（コトリ会議）をお迎えし開催したアフタートーク。司会を担当した原 竹志（同春公演・演出）に、トークの様子を語ってもらいました。

かもめはどこまで飛んだか

上手なか通路から 女の人が手を振り こちらに向かって軽く会釈をする え もうそんな時間 15分なんて秒で過ぎ去って行った 一体何を話したのだろうか 確かに 山本くんは スターマンの感想を 自分の体験を交えながら 熱く語ってくれた 岩松さんも おもしろエピソードなどを 交えながら 笑って応えていた 僕はといえば 美術や 照明などに触れながら 現場でしか感じられないような感想を織り交ぜ また残りのお芝居のお席まだあります などの宣伝もぬかりなく 待つてよ ひょっとすると ちゃんと話すべきことは話していたのではないかとすれば 僕が今ここに書くべきことは 山本くんと岩松さんの相似点についてだろうか ぼくは岩松さんと山本くんの両方の作・演出を体験した世界で数少ない役者だ モチーフを星のように点在させる その星同士を線で結び出すとは決してしない そのわきまえ 最後にスターマンのぼくの感想を少し ラストのワイングラスの音 僕には 春枝おばさんが笑ったように聞こえた しかしそれについて話すには 400字では とてもとても



談



10月3日にピッコロシアター閲覧室で、陸奥賢氏によるピッコロシアター文化セミナーラボ『直観読みブックマーカー〜岩松了編〜』が開催されました。助手を務めた野秋裕香に話を聞きました。

お題を決めて岩松さんの本から答えをもらうというもの…最初は私も「？」でしたが体験してみるとなるほど～!ってなったのでここでご紹介します。

「Q. 死ってなんですか?」

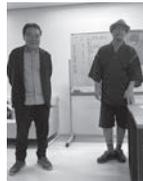
私はアイスクリームマンの本を手にとりました。本を叩いて音を聞きます…岩松さん教えて下さいと心で唱えながら拝みます。目を閉じページを開いて好きな所を指さし目を開けると、そこに答えがありました。

「A. 変わんねえよ。」

おー!ってなりました私。

出た答えをチームで紹介し合いディスカッションします。すると自分とは違う思考や解釈によってまた違う捉え方ができ、コトバを横からも斜めからも自分勝手に読み解く…コトバの奥深さを体験できとても面白かったです。

岩松さんの書く詩的なセリフがどんな質問にも意外と答えになってしまうのも不思議。WSの最後には岩松さんご本人がサプライズで登場して下さり盛大に盛り上がりました。それにしても考案者の陸奥さん…噂には聞いていましたが…いい意味で変な方です(笑)。



陸奥賢氏(右)
岩松了劇団代表

学



10月8日、9日に小野市うるおい交流館エクラにて日本劇団協議会やってみようプロジェクト『ワークショップ にほんごであそぼう!』が開催されました。講師として本田千恵子、菅原ゆうき、木村美憂が行ってきました。その様子を木村美憂に報告してもらいます。

小野市では、6年目を迎える『ワークショップ にほんごであそぼう!』。参加者にリピーターも増え、会う度に日本語の習熟度が高くなっていて、子どもたちが大きくなっていくことに喜びを感じます!

今回のワークショップは、1日目はゴミ出しについて学ぶ回、2日目は親子対象の回でした。

1日目は小野市の生活環境グループの方々にもご参加頂き、世界と日本のゴミの処理についての違いや分別リサイクルについて学びました。日本人でさえも難しい問題や言葉が多い中、参加者も必死に理解しようとしてくれていたように感じました。小野市に住む外国の方々に対して生活環境グループの方が難しい問題をどうしたらわかりやすく伝えることが出来るのか、など当日まで改善に改善を重ねて挑まれました。市の職員さんと参加者が同じ時間を過ごし共に演劇ワークをすることで距離も縮まり、安心して生活できる小野市として認識できるのではないかと思います。

2日目は、親子回! まだ産まれて間もない赤ちゃんから元気いっぱいの小学生たちまでが参加してくれました! はしゃいでいたと思ったら真剣に遊びをしたり、こちらの話す日本語を一生懸命聞いて動いてくれたり、モリモリと楽しんで参加してくれました!

日本に滞在する外国人家族の中には、慣れない日本であまり家の外に出て遊んだりすることが無かったり、お母さん同士の繋がりもないまま家の中だけで子育てを行う家族もいたり、日本に来たものの日本語が分からず閉じこもってしまう親子もいるようです。このワークショップは、子どもたちが日本語に触れながら元気に遊んでもらうこと、様々な国籍の子ども同士で触れ合うことも目的の一つですが、お母さんやお父さんにも安心してこの場に来てもらう交流をしてもらう目的もあります。こんな輪が小野市だけではなく日本全国に広まればいいなと思います。私自身としては、大きな変化の中に小さな大切なものを取りこぼさないように気を付けて進んで行きたいと思っています。



学

ピッコロ演劇学校の前期発表会が今年も本科が10月28、29日、研究科が11月4、5日にそれぞれ二日間開催されました。本科の発表演出を担当した菅原ゆうき、研究科主任講師の島守辰明が振り返りました。



去年に引き続き、本科の前期発表会の上演指導を担当しました。本科の前期発表会は生徒が0から作品を立ちあげます。講師も手伝いますが、基本的には台本はもちろん小道具や衣裳なども生徒たち自身で用意します。数ヶ月前まで赤の他人だった者同士が協働してひとつの作品を創り上げるわけですから、酸いも甘いも色々あります。その色々を書いていたら紙幅が足りないので省きます。でも、その省かれる色々が大事なんです。舞台上で役者が「いや～実はここに至るまでに色々ありましてね…」と喋ることはありません。

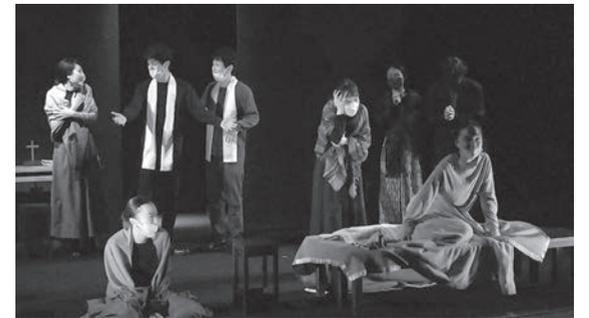
上澄みしか掬ってもらえない虚しさを感じる時が来るかもしれません。でも、沈殿した「色々」は確実に滲み出して、観客はそれを感じ取ります。最後にカーテンコールで温かい拍手を頂けたのは、そんな「上演に至るまでの色々」を感じ取ってもらえたからではないでしょうか。指導も同じで、生徒に伝えたいことは色々あるけど時間が足りません。だから後は感じ取ってもらうしかないのです。今届かなくてもいつか届くと信じて言葉を投げかけます。さて、前期発表で生徒たちはどんなことを感じたのでしょうか。その答えを卒業公演で見せてくれると思います。



研究科は2年前から「1年を通して1つの戯曲に取り組む」という年間カリキュラムを取っています。今年はアーサー・ミラー作『るつぼ』を取り上げ、前期発表ではその中の前半部分のシーン発表となりました。

例年、1学期の基礎トレーニングから始まります。呼吸と声、身体とイメージ、イメージと声、イメージと言葉などから、俳優同志の間に生まれる感覚、テンポとリズムなどの基礎を学び、夏休み以降にはその基礎の場面への活用のしかたを学んでいきます。基礎で学んだことが、実際の戯曲の分析と作者からどのような提案が隠されているか、キャラクターと自分自身との繋がり、場面を通したそれぞれの登場人物の考え、感じ方の流れを探っていきます。呼吸から学んで来た基礎がいかに戯曲という作品に繋がっていくのか。学生たちもおそらく驚きと難しさ、楽しさの毎日だったと思います。

音楽の演奏家などと同じく、俳優という表現も「個」が基礎となります。表現すること、表現を学ぶことは、いかに「個」を発見していくのか、ということでもあります。演劇の場合、作家という他人が描いたものをいかに「個」の表現に繋げるのか、ということです。ここが最も難しく、と同時にこの上もない面白い過程となります。彼らが来年3月の卒業公演までどれだけ成長していくのか、今からとても楽しみです!



談



10月26日(木)～28日(土)、おでかけステージ『タラレバ幽霊とタカラの山』仙台公演を行いました。旅公演のオフショットを、谷口遼がカメラマンとしてレポートします！

たくさんの繋がりに感謝。この繋がりをこれからも大切に。そして、またいつかここで！ ありがとうございます！！



私



普段、ダンスに筋トレに励んでいる岡島大祐に最近ハマっていることを聞きました。

俳優が声の代わりに違う音を奏でる。

『森のなかの海賊船』にて笛を奏でる先輩をみて、管楽器の面白さに静かに目覚めました。ということで、僕はアルトサックスを購入しました！

管楽器の中でサックスを選んだ理由は単純に最高にカッコイイと思ったからで、服を選ぶ時と同じような感覚です。そして先日！ 念願の「生ジャズ」を聞くことができました！！『神戸ジャズストリート』という、1982年から続く毎年10月に開催されるジャズのお祭りの第40回目に遊びにいきました。

神戸は日本のジャズ発祥の街なんですね！ 三宮駅からのパレードに始まり、9つの会場を自由に行き来し、6つのライブを楽しみました。帰り道、いつものジャズプレイリストを聞きながら、三宮から大阪まで電車で揺られていると、一刻も早く帰ってサックスの練習がしたくなりました。



動

指導

■パーキンソン病疾患高齢者対象の演劇ワークショップ

講師=木村美憂
日程=23.8月～
会場=宝塚市、大阪市、堺市

■「ことばをあそぼう！」ワークショップトライアル+シンポジウム

講師=菅原ゆうき 日程=23.7.29
会場=アートコミュニティスペース KAIKA (京都市)

■ピッコロシアター文化セミナーラボ(4)

直観読みブックメーカー～岩松了編～
助手=野秋裕香 日程=23.10.3

■新国立劇場演劇研修所

講師=島守辰明 日程=23.10.14、12.4～20

■国際電気セミコンダクターサービス労働組合

演劇ワークショップ
講師=菅原ゆうき 日程=23.11.18
会場=富山県民会館(富山県)

■第25回身体障害者補助犬シンポジウム

紙芝居上演指導
講師=吉江麻樹 日程=23.11.26
会場=宝塚市立中央図書館

■兵庫県立神出学園ワークショップ

講師=山田 裕 日程=23.12.12

■兵庫県立夢野台高校 教育・心理類型

表現力育成向上ワークショップ
講師=菅原ゆうき、三坂賢二郎
日程=23.12.14, 18

■ワークショップ にほんご de あそぼう！

講師=本田千恵子、三坂賢二郎、有川理沙
日程=23.12.17
会場=三木市立市民活動センター

■【あつまれ！ピッコロひろば】尼崎市文化振興財団演劇ワークショップ

講師=亀井妙子、森 万紀、山田 裕
日程=23.12.22 会場=尼崎市立下坂部小学校

外部出演等

■NHK FM「タイバな私の生きる道」

出演=風太郎 放送=23.7.15

■NHK連続テレビ小説「ブギウギ」

出演=森 好文 放映=23.10.2～

■明石弦楽オペラ会

弦楽四重奏によるオペラ 第5回公演「愛の妙薬」

演出=中川義文 日程=23.10.8

会場=明石市民会館中ホール

■遊劇体#66「なんじゃ主水」

出演=孫 高宏 日程=23.11.24～26

会場=THEATRE E9 KYOTO (京都市)

■西北活性化協議会 にしきたクリスマスイベント

司会=本田千恵子 日程=23.12.10

会場=兵庫県立芸術文化センター1階エントランス

■尼崎市立北図書館 おはなしBOX

企画・出演=風太郎、吉江麻樹、有川理沙

日程=23.12.16 会場=尼崎市立北図書館



- 舞台・テレビ・ホテルイベント等の照明・音響・映像による空間演出
- イベントの企画・制作・運営・進行
- デジタルコンテンツ業務の提案及び制作
- 照明・音響・映像演出設備の企画・設計・施工・メンテナンス
- 照明・音響・映像機材・資材の販売・レンタル
- 環境事業(太陽光発電・燃料電池・省エネ機材等)のシステム設計・施工・メンテナンス



HEART-S Group (株)ハートス (株)東京ハートス (株)九州ハートス (株)沖縄ハートス

お問合せ先：株式会社ハートス 本社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1丁目6番29号フォーキャスト堺筋本町10階 TEL 06-6265-2651

シリーズ探訪 47 たんぼう、たんぼう、

ピッコロシアター業務部
橋本実弥

探訪、たんぼう、たんぼう、どちらの読み方もよいようだ。辞書曰く「社会の出来事や実態をその現場に行きついで歩くこと」。散歩より真面目だけど、探検みたいなワクワク感もある。最近歩いた「現場」…勤務をはじめてまだ1年足らずなので、日々の勤務は、ここピッコロシアターの実態をさぐりに探訪しているといえる、かもしれない。

今日の探訪。「お水入れさせてください」下校中の小学生がロビーのウォータークーラーを利用してきた。「バス停はどっちだったかしら」大ホールの催しに来場した方が久しぶりの外出だったと言いながら帰っていた。誰もいないときは節電、蛍光灯を消した閲覧室には、丸い光庭から差し込んだ木漏れ日がゆらゆら揺れている。チラシラックの前で立ち止まり、気になるものに手を伸ばす人の姿。あらためてひとつひとつを見つめなおすと、本番が行われるホール内の時間が、ハレの場として特別な時間になるのと同じくらいに、ケの、日常の時間も劇場にとって大切な時間だと感じる。届いたチラシをラックに配架し終えて席に戻ると、机には回覧の資料が置かれている。「大阪に新しくできた劇場に行ってきました」

これから探訪したいところ。コロナ禍には近所の散歩がもたらされたが、「個人の判断」であちこちへ足を運ぶこともできる。外出自粛の中で劇場は「不要不急」と息の根を止められたようだったが、新しい劇場がOPENする知らせがあらちちから。大阪では扇町ミュージアムキューブ、聖天通劇場、高槻公園芸術文化劇場が2023年から、さらに2024年にはSkyシアターMBSも。あと岡山芸術創造劇場ハレノワも気になるし、東京ではTHEATER MILANO-ZaもNEWオープン。学生の頃、人生で初めて自分でチケットの予約をとり、行ったことのない劇場へ歩いたときのことを思い出す。誰に誘われたわけではなく、チラシに惹かれた、ただそれだけじゃなかったもので、どんな場所なのか、名前しか知らないまま、降りる駅も道中も劇場の扉を開けるのも全部新鮮で不安でドキドキ。辿り着いてよかったなあ。今は地図アプリが優秀だから、あときほどの不安は要らない。でもあえてあまり前情報を持たずに試してみるのも贅沢な楽しみ方かも。劇場に限らず「初めて」の場所へ、すこしずつ、さぐりさぐり歩きたい。

ピッコロ劇団・劇団員

| | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 劇団代表 | 岩松 了 | 平井久美子 | 森 好文 |
| 劇団員 | 孫 高宏 | 本田千恵子 | 森 万紀 |
| | 亀井妙子 | 眞山直則 | 森 竹志 |
| | 吉江麻樹 | 杏華 | 今井佐知子 |
| | 吉村祐樹 | 風太郎 | 山田 裕 |
| | 櫻村千晶 | 岡田 力 | 今中ひろし |
| | 岡田 力 | 橋 義 | 中川義文 |
| | 野秋裕香 | 木之下由香 | 政香里沙 |
| | 木村美憂 | 鈴木あぐり | 菅原ゆうき |
| | 鈴木あぐり | 木下鮎美 | 車 貴玲 |
| | 木下鮎美 | | 鈴木沙 |
| | | | 岡島大祐 |
| | | | 中島深志 |

ピッコロシアター・職員

| | | | |
|-----|-------|------|-------|
| 館長 | 林 隆之 | 酒井康裕 | 石井利幸 |
| 管理部 | 田路勝彦 | 山中彩希 | 櫻井豪樹 |
| | 田中久一 | | |
| | 中西由香 | | |
| 業務部 | 梶原由美子 | 西岡宏季 | 古川知可子 |
| | 木屋村優花 | 河東真未 | 猪木明子 |
| | 小西風光 | 横山海大 | 橋本実弥 |
| | 丸尾絢子 | | |
| 劇団部 | 田窪哲旨 | 磯部 聡 | 新倉奈々子 |
| | 有馬真帆 | 生田祥太 | 山中麻由 |

お知らせ
(2023.5現在)

お客様へのお願い～新型コロナウイルス感染拡大防止について～
○発熱や体調不良時は、来場をお控え下さい。
○館内でのマスク着用は、個人の判断となります。混雑時や継続的な発声を伴う場合等、必要に応じて着用してください。
○咳エチケット、手洗い、手指消毒や検温などを推奨します。
○感染状況の変化などによって、急遽、公演の中止や内容を変更する場合があります。ご了承ください。

編集後記

今年上演したおでかけステージ「タラレバ監獄とタカラの山」は、8月に一週間、10月に二週間、2回に分けて稽古を行ったのですが、稽古前には必ずアップを兼ねて全員で「人狼」を行います。大まかに言えば、「村人」陣営と「人狼」陣営に分かれ、自分がどちらの陣営であるかは隠したまま、敵陣営を狩り出していく、というゲームです。8月の稽古では、ほとんどルールが把握できず、自分の陣営の勝利に全く貢献できなかったのが悔しくて、稽古が空く9月、行き帰りの電車でスマホの「人狼ゲーム」のアプリを活用し猛練習。その成果もあってか、10月の稽古では何となくですが上手く立ち回ることができ、勝利に貢献することができました。(中)

秋は「旅公演」の季節。そこで意外と大変なのが、皆さんのお弁当の手配。地域によってはお弁当屋さん自体が少なかったり、配達時間帯が限定されていたりします。いかに安く、おいしいお弁当を、確実にかつタイムリーに提供するか。面倒ながらも、マニアックに楽しめる(楽しむしかない)制作さんのお仕事です。(いそ)

into (イントゥ)

かつて、私たちは壁を越えようとして、夢で出口を探していた。それは、確かに多くの新しい舞台が生まれる原動力となった。そして今、私たちは崩壊した壁の前で直感する。演劇を体温から捉え直すことから始めよう。その入り口がここにある。はからずも何かに出会い、そのことに夢中になるために。

兵庫県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター) 事業運営方針

兵庫県立尼崎青少年創造劇場は、青少年の自由な創造活動を促進し、あわせて県民文化の高揚を図るため、「音楽、演劇、舞踊等の創造活動」「コミュニケーションづくり」「創造活動のための鑑賞会・研究会等の開催」「音楽、演劇、舞踊等の調査研究資料の収集・提供」などを行う目的で、1978年(昭和53)に開設しました。これまで、「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の開設や、全国初の県立劇団「ピッコロ劇団」の創立・運営など、全国でも先進的な事業を行っています。

阪神・淡路大震災の経験もあって、芸術文化を人々の暮らしに欠かせない公共財としてとらえ、演劇を中心とした舞台芸術創造活動の活性化を図ると共に、多くの人たちの社会参加の機会をひらく社会的基盤として充実させるため、以下の運営方針のもとに事業を進めています。

1 上質な演劇を創造し発信します

- 専属のプロ劇団「兵庫県立ピッコロ劇団」(1994年創立)を持つ演劇の拠点劇場として、全国の劇場と連携し、優れた舞台作品の創造・発信に取り組みます。
- ファミリー劇場や学校公演など、子供・青少年向けの作品を製作し、広く地域へ届けます。
- 関西の演劇人材を結集したプロデュース作品を製作し、関西の演劇創造の活性化を図ります。
- 全国各地から発信される優れた舞台芸術を紹介し、鑑賞の機会を提供します。

2 感動を共有できる“人と場”を育てます

- “観る”喜びと“創る”喜びを体感していただける開かれた劇場を目指します。
- 舞台芸術の専門知識を持った職員が常駐し、地域の舞台芸術の創造や表現活動を支えます。
- 「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」が、地域の芸術文化活動を支える人材を育成します。
- 参加型のフェスティバルや実技教室、文化セミナーなど、舞台芸術の創造と交流の場を広げます。

3 演劇の力を活用して地域づくりを進めます

- 地域の文化資源の活用や、住民との協働による創造活動を進め、地域の活性化に貢献します。
- 表現力やコミュニケーション力を育むワークショップの実施や、教育現場での演劇の活用など、地域の未来を担う人材育成に貢献します。
- 舞台芸術を通して、高齢者・障害者・子育て世代など、多様な方々の地域コミュニティへの参加促進に努めます。
- 「兵庫県立ピッコロ劇団」が、様々な地域に出かけ、舞台芸術や舞台創造の感動に触れられる場を広げます。

4 幅広い参画と協働のもとに取り組みを進めます

- 舞台芸術を支える多くの方々の参画のもと、行政・自治体・地域文化団体、大学等の教育機関、他の文化施設などとの協働を促進します。
- 阪神・淡路大震災時の経験を踏まえ、東北との連携をはじめとした広域的な交流を促進し、兵庫から全国へ広く舞台芸術の魅力を発信します。

TOTAL DESIGN & PRODUCT REALIZATION

■ 事業内容

各プロジェクトの企画・デザイン・設計・製作・施工・監理・運営・進行業務

● 展示 各種美術展/資料館/他

● 施設 テマパーク/デパート/ショップ/ショールーム/他

● 景観 シンボルモニュメント/街並演出/他

● 催事 スポーツイベント/地域イベント/式典・コンベンション/博覧会/販売促進イベント/他

● 舞台 コンサート/ミュージカル/舞台機構/演劇/オペラ/ステージショー/他

● 映像 テレビ美術/CG/CM/映画/他

株式会社つむら工芸

一級建築士事務所

大阪/〒550-0003 大阪市西区京町堀2丁目12番24号 TEL.06-6448-2761 (代)

東京/〒105-0014 東京都港区芝2丁目2番14号 (一級ビルディング) TEL.03-6809-5222 (代)

工場/〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2丁目8番31号 TEL.072-654-0089

http://www.tsumura-kogei.com



総合建設業

〈関連事業〉カラタニエンジニアリング・トータルサプライ・
ゴジョー・デンマークハウス・柄谷倉庫物流・
昌平・昌永不動産



KARATANI

“IF”から“TRY”に。カラ タニ
株式会社 柄谷工務店

取締役社長 柄谷 順一郎



本 社 / 尼崎市玄番南之町4番地 電話 06(6415)2800(大代)
支 店 / 大阪・神戸
営業所 / 西宮・高砂・西播磨